

第3号様式

令和6年度 第3回東部公民館運営審議会会議録

(令和6年11月 作成)

- 1 開催日時 令和6年9月26日(木) 午後3時21分～午後5時31分
- 2 開催場所 習志野台公民館 第1・2集会室
- 3 出席者
  - (1) 委員 大塚委員長、舟橋副委員長、加瀬委員、吉田委員、牧野委員、本間委員、蠣崎委員
  - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
  - (1) 委員 今井委員
  - (2) 事務局 なし
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
  - 公開 (1) 令和6年度 公民館事業報告(6月27日～9月25日)について
  - (2) 令和6年度 公民館事業計画(9月26日～12月25日)について
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
  - 公開 (1) 令和6年度 公民館事業報告(6月27日～9月25日)について 承認
  - (2) 令和6年度 公民館事業計画(9月26日～12月25日)について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和6年12月26日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和6年度 第3回 東部公民館運営審議会  
議事録

日	時	令和6年9月26日(木)
		午後3時21分～5時31分
会	場	習志野台公民館 第1・第2集会室

午後3時21分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

それでは、定刻より少し早いのですが、皆様おそろいいただきましたので、ただいまより令和6年度第3回東部公民館運営審議会を開催いたします。

会議に先立ちまして、資料のご確認をお願いいたします。まず、事前にお送りさせていただきました令和6年度第3回東部公民館運営審議会の紫色の冊子、及び本日机の上に置かせていただきました「まなびの風 78号」、そして、A4の1枚の紙で習志野台公民館の計画に関しての補足資料となります。よろしいでしょうか。

それでは、大塚委員長からご挨拶のほど、よろしくをお願いいたします。

○大塚委員長

皆さん、こんにちは。習志野台公民館さんのほうにお部屋を借りまして第2回の東部公民館運営審議会を開催させていただきます。あっという間に9月ということで、なかなか皆さんもお忙しいと思います。過日お話ししたように、館長さんには、東部公民館さんを除いてそれぞれの公民館さんに見学に行かせていただき、ありがとうございました。東部公民館を除いた4館については一通り見せていただいて、最終的に東部公民館さんを見た後で、それぞれの事業の内容について私なりにお話をさせていただきたいと思っておりますけれども、結論から言えば、それぞれの館の館長さんを中心に事務の方々皆さんが一緒になって一つの力で、丁寧に対応していただいている姿を見て、やっぱり大変なご尽力をいただいているなと思っています。10人いれば10人考え方が違うし思いも違いますので、一つになって、そこにみんなが集中してやっているのを見ると、市民と触れ合うということの大切さがよく分かります。本当にありがとうございました。

それでは、ご挨拶ということにはなりませんけれども、毎回毎回ここで会議をさせていただいて、戻ってからまた見返しながら、やはりこれから止まるのではなくて、本当に市民にとって公民館がどれだけの協力ができているのか、また楽しいだけではなくて、一つでもいろんなことを、新たな考え方などを市民のほうから声を出すと、本当に公民館をつくった目的に沿うような事業が展開できるかなと思いますので、今後とも私を含めて皆さんといろんないい意見を交わしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

挨拶ということではないですが、以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございます。

ただいまから令和6年度第3回東部公民館運営審議会を開催いたします。本日までに今井委員より欠席のご連絡をいただいております。現在、委員8名のうち、7名の方に

ご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立しております。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

また、本日、運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。大塚委員長、議事進行のほう、よろしくお願いたします。

#### ○大塚委員長

それでは、本日の議事に入りたいと思います。

次第（１）の「令和 6 年度公民館事業報告（6/27～9/25）について」、東部公民館さんから順次説明をお願いいたしたいと思います。委員の皆さんのご意見は、全公民館からご説明を受けてから頂戴いたしたいと思います。

それでは、東部公民館長さんからお願いいたします

#### ○東部公民館長

東部公民館でございます。資料 2、事業報告資料については 1 ページからでございます。

まず初めに、青少年事業からでございますが、「ハッピーサタデー事業」につきましては、7 月には「夏まつり～おばけやしき～」、8 月には「作ってあそぼう～ステンドグラス～」を開催いたしました。どちらも会場は前原児童ホームでの開催でございます。おばけやしきはコロナの影響等で 4 年ぶりの開催となりまして、大勢の小学生や中学生、乳幼児の親子の参加がございました。

おばけやしきに入るまで長い列ができ、入り口に近づくにつれて子供たちの緊張する様子がうかがえたところでございます。ちょっと怖いと思う参加者にはお守りをつけて入室してもらい、「お守りをつけていますよ」と声を出して入るとおばけが近づかない工夫がなされており、怖くて泣きながら出てくる小学生や、「楽しかった、また入りたい」と笑顔で出てくる子供たちなど、様々な様子がうかがえました。前日からの準備など、大変な事業でございましたが、おばけになった子供たちや参加した子供たちは、夏の風物詩のおばけやしきを前原児童ホームで思い切り楽しんだものと思います。

「作ってあそぼう～ステンドグラス～」については、子供たちに好きな絵を下書きしてもらった後に、クリアファイルにその好きな絵を描いて、それを描き終わるとアルミホイルを両手でくしゃくしゃにして握り丸めて、それをまた優しく広げて額に敷いて、その上にクリアファイルに描いた絵を置くとステンドグラス風に見えるという作品でございます。すぐに絵を描き終わる子や、なかなかデザインが決まらない子、仕上げに時間がかかる子、アルミホイルを広げたときに切れてしまった子、様々な子供たちがおり

ましたけれども、子ども劇場のスタッフの方々がきめ細かく子供たちをサポートしていただきましたので、子供たち全員、無事、作品を完成して家に持ち帰ることができました。

次に、「子ども日本語教室」については、引き続き国際交流課との共催事業により開催したところをごさいます。日程、参加者については資料のとおりでございます。9月21日には21名の参加があったところでございます。

次に、成人事業についてでございます。「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」については、健康の保持・増進を図るために、前原地区社会福祉協議会との共催事業として実施しております。前原小学校、中野木小学校、それぞれの体育館をお借りして開催したところでございます。9月1日は37名、9月22日は16名の参加がありました。

続きまして、高齢者事業についてでございます。「東老協支援事業」、いわゆる東部公民館区の老人クラブ連合会、これら皆さんの交流を図る、親睦を図るということで開催したもので、7月11日には、習志野台公民館の会場をお借りしてのワナゲ大会を開催したところでございます。ワナゲ・ダーツ大会では、ワナゲのリングをピンめがけて真剣かつ楽しみながらプレーされ、参加者の中には確実にそれぞれのピンに入れるという高い技術を持った方もいらっしゃいまして、点数を競い合っていました。上位入賞者は上部団体での大会に参加する予定となっているところでございます。

次の8月16日のダーツ大会については、ちょうど台風が接近した時でございますので、中止となったところでございます。

最後に、その他についてでございます。子育て支援事業として、生後4か月から1歳の乳幼児を対象にした「子育てサロン『アイアイ』」、1歳から3歳の乳幼児の親子を対象にした「子育てサロン『ランラン』」、それから、3か月から1歳前後の乳幼児の保護者を対象にした「子育てサロン『おしゃべり広場』」ということでの事業を実施したところでございます。親子を対象にリトミックや絵本の読み聞かせを実施する「子育て支援事業『親子交流講座』」も前原児童ホームで実施しました。

その中で、「子育てサロン『ランラン』」の8月8日には、私もこの前原児童ホームのほうに一緒に参加をしてみました。当日も猛暑の中の開催でございましたが、お子さん28名、お母さん26名の皆さんが児童ホームに集まり、エアコンの効いた児童ホームの体育室で、講師のピアノの伴奏に合わせて歌ったり踊ったり、参加者同士おしゃべりしながら、また、参加することによって、家の中で過ごすのと違った楽しい雰囲気の中で皆さん過ごしていただいたのではないかと思います。

最後に、「手話であそぼう！」の事業についてでございますが、これは、障害のある人ない人も共に生きる社会「共生社会」の実現に向けてをテーマに、去年に引き続き開催した事業で、全3回講座のうちの1回目を開催したところでございます。昨年度に引き続き、聴覚障害者協会の皆さん、それから船橋市手話サークル空の皆さん、船橋市福祉

サービス公社の皆さんのご協力をいただきまして、36名の参加をもって開催したものでございます。1回目については、先日9月21日に「聞こえないってどういうこと？」をテーマにした講演会を開催し、講演会の後は、簡単な手話の指導を受けて、動物や食べ物、衣類等についての手話の表現の仕方を覚えた後に、フルーツバスケットを通して障害者の方との交流を楽しみ、一緒に楽しい雰囲気の中で交流を図ることができた事業でございました。

○大塚委員長

東部公民館さん、ありがとうございました。

それでは、続きまして三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館が6月27日から9月25日までに実施した事業についてご報告いたします。

まず、青少年の「ハッピーサタデー事業」です。7月13日の「夏のお楽しみ会」は、三山児童ホームと毎年度共催で実施しております。だるま落とし、ヨーヨー釣り、お手玉などのいろいろなコーナーを巡って、夏まつりを親子で楽しみました。7月27日の映画とお楽しみ会では、短編アニメの鑑賞とマジックの観覧、工作用紙と紐を使ってびゅんびゅんごまの制作を楽しみました。

続きまして、8月1日（木）の「職業研究講座」では、絵本作家をお招きしまして、イラストレーター・絵本作家の仕事についてお話ししていただきました。

まず、「イラストレーション」という言葉の説明がありまして、日本では「イラスト」と短縮して呼ぶことが多いですが、分かりにくいものを分かりやすくすることをイラストレーションと言うそうです。何かを説明するときに図にするとよく分かるということがありますが、それがイラストレーションということでした。ですので、イラストレーターとは、ただ絵を描くだけでなく、挿絵にしても絵本にしても視覚的に分かりやすくするものであって、それを求められてお仕事の依頼が来ますので、ただ絵が描けるだけでは務まらない。また誠実に締め切りを守るなど、大切にしていかななくてはならない仕事への姿勢についてもお話しいただきまして、子供たちは真剣に話を聞いておりました。

後半のワークショップでは、のびーるカードという30センチ×10センチの細長い画用紙に絵を描きまして、折りたたんだ状態から広げると中の絵が現れて、絵が伸びるような仕組みのカードを作製しました。ほかの人がつくったカードを見る時間もありましたので、工夫した点を見つけたりして、みんなで鑑賞しておりました。自分の好きなことと仕事を関連づけて考えるよい機会になったと思います。

続きまして、9月21日の「軽スポーツで楽しく遊ぼう！」の人数が入っておりませんので申し上げます。男子10名、女子8名、合計18名でした。6月にも「軽スポーツで楽しく遊ぼう！」を三田習地区スポーツ推進委員会さんが講師になって実施していただ

いておりますが、そのときに行ったオリジナルゲームのダレッジボールが好評でしたので、今回もそれを行いました。今回初めて体験する子供たちも楽しんでおりました、また幼児から高学年の子まで一緒にプレーできる楽しめる競技ですので、異年齢で交流することができてよかったですと思います。

続きまして、成人対象です。生涯学習コーディネーターとの協働で実施しております「三田セミナー 前期 房総・船橋そして世界へ」は、地元である千葉県の房総の魅力を発見することをテーマに3回にわたり実施いたしました。第3回として、「浮世絵でめぐる房総・船橋」と題しまして、房総や船橋が題材の浮世絵を中心に学びました。身近な場所が浮世絵となっているため親近感を持って理解でき、昔の千葉や船橋の風景を知ることができました。

続きまして、「スマホ活用講座『LINE 入門編』」ですが、参加人数を申し上げます。男性2名、女性6名、計8名でした。定員15名のところですので、ちょっと少ない結果となってしまいました。この講座は、メモを取るよりもスマホを実際に触って楽しんで覚える講座ですけれども、今回半数ぐらいがLINE初心者だったと聞いておりますので、ちょうどよい内容ではなかったかなと思います。また、人数が少なかったので参加人数が増えるような工夫をしていきたいと思っております。

次のページに移りまして、「古文書の読み方講座」です。こちらは人気のある講座で毎年実施しております。最初は読めなくても、講師から「ここに書いてある文字はここに書いてある文字と一緒にですよ」などと教えてもらううちに、パズルを解くように読めてくる楽しさがありました。

続きまして、「家庭教育セミナー」です。三田公民館区の小中学校 PTA で年度1校ずつ順番に実施しております。今年度は三山小学校 PTA と共催で行っております。テーマは「親子で学ぶ性といのちの大切さ」です。参加人数を申し上げます。9月18日は男性0名、女性16名です。9月20日は男子29名、女子41名、保護者男性0名、女性7名の計77名でした。保護者が子供に性教育をするに当たって、現代に生きる子供たちの今の状況は保護者が生きてきた時代から変わってきておりますので、今に知識をアップデートするため、助産師から教えていただく講座を行いました。また9月20日の2年生対象のいのちの授業では、講師から子供たちへ質問を投げかけながら進める方法で胎児の人形を使って分かりやすく、自分たちは母親のおなかの中で頑張っている、生まれてきた大切な命であるということを伝えていただきました。また、9月18日には、保護者のリフレッシュと交流を目的にヨガを行いまして、皆さん体をリフレッシュしてお帰りになりました。

続きましては、高齢者対象です。「三田寿大学」は、期間内に記載のとおり2回実施いたしました。9月12日、中国文化講座の人数を申し上げます。男性15名、女性41名、合計56名でした。中国文化講座は、市役所の国際交流課に所属する中国人の国際交流員

の劉琳さんを講師にお招きしました。動画や写真資料を使いまして、クイズ形式で参加者と交流しながら中国の文化や食べ物などを教えていただきました。

次のページに参りまして、「ふなばしシルバリーハビリ体操教室」は記載のとおり実施いたしました。9月17日の参加人数ですが、男性2名、女性28名、計30名でした。

続きまして、「三田老協支援事業」です。三田公民館区老人クラブ連絡協議会との共催事業です。室内ペタンク大会、ダーツ大会、ワナゲ大会を期間内に実施いたしました。

9月18日のワナゲ大会の人数を申し上げます。男性14名、女性23名、合計37名です。ダーツとワナゲは昨年より7～8名参加が減っておりまして、これはクラブのメンバーの方が就業している方が増えているため、平日の日中に行うと参加できないというのが理由の一つにはなっているのですけれども、今後人数を戻していくことが課題となっております。

続きまして、そのほかの事業です。「みんなで体験！防災教室」は、生涯学習コーディネーターと協働で毎年実施しております。今年度は室内防災運動会で、負傷者を運ぶ方法やバケツリレーなどを競技として楽しみながら身につける講座を行いました。

次に、「土曜卓球開放」は、記載のとおり毎月第1土曜日に実施いたしました。

次のページに参りまして、「おひさまクラブ」です。9月24日の参加人数を申し上げます。女子1名、保護者女性1名、計2名の1組でした。「おひさまクラブ」は全4回で、それぞれの回ごとに参加者を募集しております。内容としましては、ベビーマッサージ、親子ピクス、栄養士のお話を行いました。参加者が毎回2～3組あるいは1組しかお申し込みがないこともありました。ご参加いただいた方には大変好評なのですが、地域にお子さんが少ないということもあり、今後は広報の仕方を広げて参加者を増やせるようにしていきたいと思っております。

三田公民館の事業報告は以上となります。

#### ○大塚委員長

ご苦労さまでした。

それでは、習志野台公民館長さん、お願いします。

#### ○習志野台公民館長

では、習志野台公民館の記載の9月25日までの事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業でございますが、「ハッピーサタデー事業」といたしまして、7月は「子どものためのマリンバとヴィブラフォンのコンサート」を青少年の環境を良くする市民の会の企画運営により、8月は「夏休みこどもエコ教室」をアースドクターふなばしを講師に開催いたしました。9月は小学生の親子で「古代人になろう」を行いました。7月は、青少年の環境を良くする市民の会が講師と書いてありますけれども、こちら出演は Calamus (カラムス) というヴィブラフォンの眞行さんとマリンバの宮野下シリウさんの2人組の演者さんにより開催いたしました。

それから、9月の「古代人になろう」でございますが、こちらは県の文化財課の職員の方を講師に、実際の割れた土器の文様を生かしたしおりづくりを行ったり、火おこし体験など行って、非常に盛り上がりおりました。

次の「夏休みこどもポスター教室」、また、その次の「夏休み読書感想文講座」、こちらは東図書館との共催でございますが、夏休みの宿題応援講座として企画いたしました。

ポスター教室でございますが、3年生以上を対象にしております、昨年度もお願いいたしましたイラストレーターのU-suke（ゆうすけ）さんの指導により課題のポスターをつくることができ、最後の回にみんなで講評するなどして楽しく宿題を終わらせることができたと考えております。こちらの評価のほうにも記載をさせていただいておりますが、参加したお子さんによっては、2日間で終わってしまうお子さんや3日かかって終わらないお子さんもいて、時間配分の難しさも感じたところでございます。終わってしまったお子さんは別な絵を描くなど、講師の方にもご配慮いただいております。

「夏休み読書感想文講座」に関しましては、記載のとおり開催でございます。

次のページに参りまして、「夏休みこども将棋教室」でございます。こちらは数年人気の事業となっております。今年度は初心者向けとして全2回で開催いたしました。将棋の駒の説明や動かし方を講師の齋藤先生から教えてもらい、実際の駒を使って将棋の指し方を学びました。ただ、最初から将棋は難しいこともありまして、はさみ将棋で楽しんだり、参加者に合わせて講師が進めてくれておりました。

次に、成人事業でございます。「習志野台郷土史講座」でございますが、こちらは目玉事業として事業計画シートの17番です。習志野台公民館登録の社会教育関係団体である習志野原歴史研究会と共催にて開催いたしました。こちらは全3回で講師が5人ということで、計画説明時にもお話しさせていただきましたが、実際に開催をしてみて内容は大変濃くてよかったのですが、全3回で講師が5人いたために、一部駆け足での講座となってしまった感がありまして、そこは少し時間配分等をまた歴史研究会さんと考えていかなければいけないのかなと感じております。講座終了後、1名の方が歴史研究会さんに加入してくれたという話なので、会員増も図ることができました。また、今後ボランティアガイドを育成するというのも目的としてございますので、団体が公民館を使って活動する支援等をしていきたいと考えている講座でございます。

次の「デジタルデバインド対策事業」は、記載のとおり情報モラルとして、スマホの使い方、機械の使い方というよりは、SNS等の危険性や、やってはいけないようなこと、そういったことをメインとして開催いたしました。評価に関しましては記載のとおりでございます。

次のページに参りまして、次の「魅力アップ講座(元気で魅力ある70代をおくろう)」でございます。こちらは屋木綾伊子さんを講師に開催いたしました。60代から80代の

参加がございました。参加者の皆さんが帰られるときの顔は大変すてきであったと私も感じております。参加者の方からも、ぜひ来年も開催してほしいという声が多く聞かれたと事業担当からは聞いております。

次の「リカレント教育（メイクアップ講座）」でございますが、まず人数の記入をお願いいたします。9月18日、25日、両日とも男0、女10、合計10の参加でございます。こちら前回の計画ご説明時にお話しさせていただきましたが、当初は「魅力ある70代をおくろう」ということで魅力アップ講座として開催する予定でしたが、分けて開催することで、事業としては実質新規扱いのような内容になっております。こちらは公民館で年齢の対象は40代から50代に設定して募集しましたが、オンライン抽選で定員12名中、参加者が30代から50代で10名となり、平日であったにもかかわらず、ふだんあまり公民館を利用しない人の参加が多かったのが印象的でございます。

内容といたしましては、1回目で自分に合うカラーを講師の説明で学びまして、2回目は自分に合った色の口紅づくりを行いました。評価といたしましては、参加者も自分に本当に合った色のコーディネートを専門家から学ぶことができ、また今後の生活や活動に活かしていくことができ、リカレント教育の一環とすることができたと考えております。

次の「家庭教育セミナー」でございますが、こちらは3回目として記載のとおり開催いたしました。人数の記載をお願いいたします。子供が男10、女8、保護者が男0、女18、計36名の記載でございます。

次に、高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」の7月は医師講座として、高齢者に多い基礎的疾患について学びました。講師は医師会のほうにお願いしてございましたが、しまね内科クリニック院長の嶋根正樹先生がご来館いただき、先ほどの内容についてご説明をいただきました。終了後も質問が多くございまして、やはり健康講座は参加者の関心が高いなということがうかがえました。

9月の講座でございます。申し訳ございません、「チョコレートの秘密」と記載されておりますが、正しくは「チョコレートの世界へようこそ」でございます。こちらは健康を主体としておりますチョコレートについて学びまして、カカオによる違いをチョコレートのテイスティング体験をして参加者は学んでおりました。9月19日「チョコレートの世界へようこそ」の人数でございますが、記載をお願いいたします。男15、女76、計91でございます。

次、10ページに移りまして、「ハッピーサロン」を記載のとおり開催いたしました。

また、次の「ふなばしシルバーリハビリ体操」とその下の「習老協支援事業」を記載のとおり開催いたしました。

習老協支援事業でございますが、8月20日のダーツ大会は、当初8月16日開催の予定でしたが、台風の影響により開催日を8月20日に変更して実施しております。また、

8月31日の文化祭の展示につきましても、台風の影響により展示自体は中止となりまして、9月1日の芸能交歓会のみで開催となっております。なお、9月18日グラウンドゴルフ大会の人数の記載をお願いいたします。男23、女20、計43名でございます。こちらは9月として大変暑い日でしたが、特に熱中症等もなく、若干心配はしていましたが開催することができて、皆様元気にお帰りいただいたところでございます。

次に、その他事業でございます。ページ移りまして「おもちゃの病院」「将棋開放」「卓球開放」「子育てサロン」を記載のとおり開催いたしました。なお、「子育てサロン」の一番最後9月25日の人数の記載をお願いいたします。男3、女8、計11名でございます。

なお、将棋開放でございますが、参加者数が8月23日以降、人数がちょっと増えております。こちらは先ほどご説明した「夏休み子供将棋教室」に参加した小学生が3～4名、引き続きこちらの将棋開放に来てくれているためでございます。

習志野台公民館の報告は以上でございます。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、飯山満公民館長さん、お願いいたします。

#### ○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業報告をさせていただきます。

まず、青少年事業の「クラブ活動支援事業」は、7回のうちの2回目を行いました。

次に、「夏休み宿題応援企画 図書館探検と読書感想文教室」です。新規事業になります。1回目に飯山満から西図書館に連れて行き、西図書館の書庫や児童書ゾーンを案内していただいた後、選書しました。2週間で本を読んでもらい、2回目に公民館で感想文の書き方を学びました。図書館での選書や図書館探検はよい企画だと思ったのですが、飯山満駅集合・解散のため、参加者によっては保護者の送り迎えが必要となり難しかった方もいたようで、定員に満たない状況でした。講座自体は講師が作成した分かりやすいワークシートにより感想文の書き方を学ぶことができ、2回目にはほとんどの児童が書き上げていました。読書感想文教室は需要が多い講座なので、やり方を検討し、次年度も継続していきたいと思っております。

次に、「夏休み宿題応援企画 理科実験教室」です。千葉県立船橋東高校の理科部が考えたスーパーボール、万華鏡、スライム、オーシャンボトル、備長炭の5つのブースの中から2個ずつ選んでもらい、それぞれ高校生に教わりながら実験を行いました。子供たちはとても楽しんでおり、来年もまた来たいと言っておりました。家に帰り、製作過程や実験結果、実験して分かったことなどをまとめて自由研究として仕上げ、学校に提出してもらえるとよいなと思っております。

次に、「夏休み卓球教室」です。飯山満中学校卓球部の生徒に地域の小学生が卓球を

教えてもらいます。中学生は総合体育大会を終えて3年生が引退した後の1、2年生が講師となります。初めは球を返せなかった児童も、最後には中学生とラリーができるくらいまで上達していました。どちらも近隣の学校と連携し、地域ぐるみで子供の成長を支援するという重点目標に沿ったものになっております。

次に、成人対象の「はさま学びの泉～浮世絵で歴史散歩～」です。3回講座の3回目で、両国駅周辺の歴史について説明を受けながら、すみだ北斎美術館に入り、常設展と企画展を見学しました。1、2回の講座で北斎について学んだ後、新紙幣の図柄採用記念で開催中の特別展を見学でき、受講者にとって有意義な講座になり、地域課題である大人が学習する場と機会の提供ができたと思っております。

次に、「教えて！私のスマホの使い方」です。業者が貸し出すスマホではなく、ご自身のスマホで講座を受けられるということと、講座内容も館側の意見を聞いていただき、よい講座になると思っていたのですが、講師の説明とスタッフの個別対応が同時進行となり、説明を聞きたい参加者が聞き取れない状況が続いてしまいました。説明の時間と個別対応の時間を分けるべきだと感じました。そうでなければ、説明の時間を設けずに初めから参加者それぞれが聞きたいことを個別に教えていただいたほうがよいのではないかと感じたぐらいです。自身のスマホで受講できると期待して来られた参加者には申し訳なく感じました。たくさんのスタッフと市に登録してきてくださったスマホコンシェルジュに個別にいろいろ教わった方は満足して帰られたと思いますが、説明を聞こうとされた方は周りがるさく聞き取りにくかったと思います。講座の途中で何度か講師にお願いをしてみました。今後は講座の進め方をしっかり打ち合わせをしてから実施したいと思いました。

次に、「ワクワクする暮らし～食品サンプルを作ろう～」です。こちらも新規事業です。海外でも注目される食品サンプルづくりを通して、日本文化を再考する機会を提供することをねらいとします。色づけされた樹脂の上からシリコンを絞り、講師が作成したたくさんのフルーツやプリンなどを飾り、カラフルなパフェをつくりました。スタッフが箱に詰めてくれている間に食品サンプルについてのクイズなどが出題され、食品サンプルについての歴史や材料の変化などについても学ぶことができました。

次に、「エシカルな暮らし～マイ箸を作ろう！～」です。数々の賞を受賞している講師から江戸指物の歴史や木材の種類などを学んだ後、自分だけの箸を製作しました。参加者の満足度は高く、貴重な体験の機会を提供できたと思います。ただ、講師からお借りした道具の数が限られていたため、3班に分かれて製作することになり待ち時間ができてしまいました。あらかじめ分かっていたので江戸指物についての書籍等を用意していましたが、製作が終了した方の間が持てなく、終わった方からの解散としました。今後同様の講座を実施するときには、事業の進め方を検討する必要があると感じました。

次のページに行きまして、「体験して感じて！見えないってどういうこと？」です。

こちらは当館の目玉事業になります。国籍の違い、障害の有無など、多様な人々との交流・体験の機会を提供し、相互理解を促すことにより共生社会実現に向けた取組の充実を図るということを今年度の重点目標の一つとしました。見えない（弱視・視野）とはどういうことかや、白杖の種類、意味などについて講義と体験を併せて学ぶことで、参加者が身を持って視覚障害について理解できる講座となりました。参加者数こそ定員の半分になってしまい、見学のおつもりの大塚委員長にも参加していただきましたが、障害者理解という点では期待以上に意味のあるよい講座にすることができました。この講座により、視覚障害者が街を歩くときの状況を少しでも感じていただき、その上でどのようなことに気をつければよいか考えるきっかけとなってくれることを期待したいです。この講座の動画を撮影し、ふなばし生涯学習チャンネルで公開しようと、現在編集しているところです。

次の高齢者対象、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載のとおり行いました。

次に、「飯山満寿大学」です。7月はピアノコンサートで、ベートーベンの世界を味わうというテーマで、ベートーベンの一生に合わせた曲を語りを入れながら演奏していただきました。数々の賞を受賞した方の演奏はとてもすてきで受講生は感動しておりました。8月はお休みで、9月は外国人から見た船橋市というテーマで、船橋でカフェを営んでいるベトナムの方にお話ししていただきました。参加人数のご記入をお願いいたします。男13人、女51人、合計64人でした。

船橋市はいろいろな日本語学校や工場があって、留学生にとっては勉強にもアルバイトにも便利。子育てサポートがよく、アンデルセン公園や三番瀬海浜公園など遊びに行くところがいっぱいある。田舎でもなく都会でもないので住みやすいということでした。

次の「シルバー男性料理教室」です。9月20日の参加人数のご記入をお願いいたします。男13人、女0人、合計13人です。9月はトマトライス、冷しゃぶサラダ、チンゲンサイの味噌汁、フルーツヨーグルトでした。トマトをそのまま炊飯器に入れて炊くトマトライスが好評でした。

次の「ゆびとま子育てサロン」です。8月は手形・足形のうちわ作成という、いつもと違うイベントもあり、飯山満にしてはたくさんの方に来ていただきました。9月は歯科衛生士さんから虫歯予防について、保健師さんから乳児の視野についてのお話をしていただきました。

最後に、「本館家庭教育セミナー」です。今回は飯山満南小学校 PTA の方から、宿題で提出できるようなものを親子でつくりたいという要望を受けて、粘土でケーキの貯金箱をつくりました。親子でとありますが、あくまでも主体は子供で、講師のアシストを受けながら好きな色をつくり、フルーツや動物のトッピングで飾り、それぞれかわいいケーキの貯金箱をつくっていました。保護者は粘土が乾燥しないように霧吹きで水をかけたりサポートしていました。受講後のアンケートでは、親子ですてきな時間を過ごす

ことができたという感想をいただきました。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

最後に、薬田台公民館長さん、お願いいたします。

○薬田台公民館長

薬田台公民館の該当期間の事業報告をいたします。

「ハッピーサタデー推進事業」になります。「子ども和太鼓教室」では、バチの持ち方、構え方の指導後、四拍子の打ち方を習い、ドラえもん音頭に合わせて和太鼓をたたきました。太鼓をたたくのは初めてという参加者が多くいましたが、最後の発表にはきちんと曲を仕上げました。

「夏のおたのしみ会」につきましては、児童ホームと共催で実施いたしました。参加人数の訂正をお願いいたします。小学生を対象に2部制で行ったため、上の段が1部、保護者等の数が2部の数字として記載してしまいました。1部が男18、女32、2部が男10、女35、合わせて95名になります。スタンプラリー形式で5つの遊びを体験、最後におたのしみ抽選会も行いました。中学生ボランティアもスタッフとして関わり、異世代の交流もできました。

続きまして、今年度の目玉事業として、「親子エコクッキング」を実施しました。低温調理、野菜は無駄なく使うなど、実際にチャーシューをつくりながら、環境に優しい調理法について親子で考える有意義な時間となりました。最後には班ごとにごみの計量を行い、盛り上がりました。環境への意識も高まったようです。特にソーラークッカーでケーキをつくるお楽しみ企画には、参加者も興味津々でした。「チャーシューがこんな簡単につくれるとは思わなかった」「家でもつくりたい」のほか、「包丁を使うことが楽しかった」「人参を切ったら手が痛かったけど、ママが上手と言ってくれたからうれしかった」などのかわいい感想もありました。保護者からは「ふだん一緒につくる時間的余裕もないので、親子で体験できて楽しかった」という感想をいただきました。

続きまして、新規の「DIY こども工作教室」になります。夏休み中の小学生を対象とした事業のため、申込み状況がよく、当日も全員参加となりました。子供たちの自由な発想でつくられた作品は、それぞれのよさがありました。最初は何をつくっていいか分からず戸惑っているお子さんも、最後には自分から手を挙げて発表ができるようになりました。

続きまして、「クラブ活動支援事業」になります。参加人数をご報告いたします。男8名、女5名、合わせて13名となりました。最後の発表会に向けて練習を続けております。

続きまして、「やくえんだい楽学講座」となります。5つの様々な分野の講座を組み

合わせ、学ぶ楽しさや知る楽しさを知っていただくため、企画委員により企画・実施しております。コロナ禍ではできなかった参加者同士の交流を目的の一つと挙げ、1回目にコミュニケーション講座を行い、参加者同士が打ち解けるきっかけをつくりました。1回目の講座がきっかけで、その後も和やかな雰囲気となり、参加者の満足度の高さにもつながりました。

「ハーブを楽しむ生活」では、もともとハーブに興味があった方には「いろいろなハーブに触れられてよかった」、初めての方には「初めての経験で楽しかった」「生の草花を使用し、爽やかな気分になれた」との意見をいただきました。

「地球温暖化と海洋プラスチックごみ問題に私たちができること」については、「目を向けなければいけない問題に気づかされた」「身近なところから心がけたい」との意見がありました。

「紫式部日記と小右記」については、「歴史が得意でなくても、とても興味深く話を聞くことができた」「大河ドラマを見る楽しみが増えた」などの意見をいただきました。

「チェロのレクチャーコンサート」については、「チェロのみの演奏を聞くのは初めてだったが、チェロの音がとても深くすばらしいものだった」「耳、身体に染み入る音だった」、また「レクチャーコンサートらしいチェロの手法、曲ができる背景、映像等で楽しませていただいた」との感想をいただきました。

続きまして、「薬円台ふれあいコンサート」になります。ヴァイオリンとハーブの優しくも情熱的な音色に癒やされた晩夏のコンサートとなりました。ヴァイオリン奏者が客席の間を歩きながら演奏する場面もあり、「目の前で演奏を楽しめてよかった」など、一体感に包まれた会場は終始穏やかな雰囲気でした。また、「選曲もよく知っている曲ばかりでうれしかった」との声も多く、観客の満足度も高かったようです。

続きまして、「薬円台南小学校 PTA 家庭教育セミナー」になります。すみません、前回の計画では記載ができておりませんでした。報告のみとなってしまいます。3回講座のうちの1回目、「ネット社会を生きる力」を5、6年生とその保護者を対象に行いました。子供たちを取り巻く現状やインターネットの危険性について、機器等の付き合い方などについて考える機会となりました。

続きまして、「スマートフォン講習会」になります。入門編、超初心者向けとして行いました。

続きまして、生涯学習コーディネーター企画になります。「『ごみ』の中に夢がある!」、環境部のクリーン推進課、清掃センター、資源循環課を講師に招き、家庭ごみの状況や分別の話、作業員視点からのごみの出し方についての話などを学習することができました。ごみは日常生活から切り離せないものであり、環境や循環型社会について真剣に考える時間となりました。

「多肉植物寄せ植え教室」となります。こちらも生涯学習コーディネーター企画とな

ります。多肉植物の講座に興味があり、初めて公民館事業に参加した方も多くいらっしゃいました。多肉についての座学と寄せ植えを体験する内容で、完成した寄せ植えを見せ合うなど交流の機会もあり、楽しい講座となりました。アンケートでは、「継続して開催してほしい」との声もありました。

続きまして、新規事業「ドライフラワー講座」となります。2回講座の1回目となります。多くの申し込みをいただき、71名の応募者となりました。40代、50代の申し込みも多くありました。参加人数を報告します。男0名、女19名、合計19名となりました。1回目の講座は、ドライフラワーの特徴や製作方法などを学び、ガーランド（紐や針金などで複数の花や葉っぱをつないだもの）をつくりました。

続きまして、「やくえんだい福寿大学」になります。7月は「船橋の歴史」を学びました。大神宮を知るという内容で、近くにある大神宮にこのような歴史があると知ることができ大変興味深かったようで、「ぜひ講師の引率で大神宮を訪ねてみたい」という声を多くいただきました。

9月の「手話で歌おう♪四季の歌」は、手話に興味があるというアンケートの声をもとに企画しました。初めての手話に手も頭を使いましたが、手話の表現に魅せられて、「この名前はどのように手話で表現するのですか」といった質問が挙がりました。手話サークル空さんは、東部公民館で活動されているサークルさんですが、改築のため現在薬円台公民館で活動されているという縁もあって、講師をお引き受けいただきました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。9月25日の参加人数を報告いたします。男9人、女56人、合計65人となります。夏の暑さもあり参加人数にばらつきがありますが、常時間い合わせもいただき、事業が浸透していているなと感じております。

続きまして、「カンガルーぽっけ」になります。おやこの防災については、黒ビニールを使用したトイレづくり、また、公民館の備蓄の防災用品などを見てもらいました。また、個別相談を受けるなど、子育ての不安解消の一助となる機会となっております。

「親子遊び、工作等」は、牛乳パックのカスタネットをつくりました。カスタネットにシールやクレヨン等で飾り付けをし、出来上がったカスタネットを使い紙芝居に参加しました。そのほか様々な牛乳パックのおもちゃを紹介しました。

最後に、「地域緑化支援事業」になります。薬園台駅前花壇と線路沿いの三角花壇に植えた花の管理を引き続き行っております。

薬円台公民館からは以上となります。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

全公民館さんから報告をいただきました。委員の皆様、ご質問またはご意見がございましたら挙手でお願いいたします。

○加瀬委員

いくつかあります。東部公民館さん、アイアイ、ランランですけれども、公民館でやっているときよりも参加者が多くないですか。

これは、何か立地条件あるのかな。

○東部公民館長

前原児童ホームは、立地的には集合住宅の中にあるものですから、普段からも来館者が大勢いらっしゃる施設ということで、集まりやすい、参加しやすい環境にはあるのかなと思います。

○加瀬委員

そうですね。春にやる子ども春まつりも、昔、公民館でやっている頃は本当に寂しかった。児童ホームでやるようになったらあの人数でしょう。確かに今さらしようがないけれども、公民館が習志野市との市境で、隣りは習志野だから、それもあるんでしょうけどね。ありがとうございます。

それから、三田公民館さんの寿大学で、東警察と市民安全推進課の方に来ていただいて電話詐欺の講習会やっていただきましたが、館長、少なくとも東部ブロックどこの公民館でもこれはやってほしい。船橋東警察が2週間ぐらいの間で、2週間ぐらい前が1,600万円、ついこの間が4,000万円やられている。今この時期にだまされる人って、こういう話を聞きに来ない人だと思うんです。聞きに来る人は問題ない。まずだまされない。だけど、何か情報としてこういうことをやっているよというのを。多分この後、警察が各町会に何かアクションがあるんじゃないかと思う。あまりにも多すぎるから。千葉県で被害金額がトップクラスになってしまったと思うんです。

それから、もう一つ、薬田台公民館の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」はすごく参加者が多い。何か募集に仕掛けか何かやっていますか。普通にただ募集しているだけですか。

○薬田台公民館長

募集していますけれども、例えば福寿大学で宣伝したり、そういうことはやっております。

○加瀬委員

参加者が多いのはいいことだけれども、多分よその公民館はこんなにもいないよね。だから募集に何かうまいことを考えているのかなと思ったんです。

○本間委員

今年の夏の暑さというのはすごく異常な状況で、熱中症警戒アラートがいっぱい出ていました。東部公民館はあちこちでやっていますが、各施設での冷房完備というか、それはチェックしてやっていたんですか。

○東部公民館長

各施設の空調機については、年次点検、冷房暖房切り替えのときに点検をしております。

○本間委員

今、一般的に東京都なんかは、あんまり暑いから薬局とか公民館などにお休み処というか休憩所というのをつくっているけど、船橋はやっているんですか。

○東部公民館長

船橋市も公民館を含めた施設の中で、「クーリングシェルター」と称して市民の皆さんにご案内をして、ご利用していただいているところがございます。図書館とか公民館とかの施設で、1階のロビーとかにご案内しているところがございます。

○本間委員

あとは、それぞれ講評というか評価というのが書いてあって、施設の意見が分かるのでよかったなと思っているんです。全部は書いていないので分からないけれども、三田公民館のところで子供のハッピーサタデー事業に関しても、子供からの要求とか意見を聞いてやっているんですか。青少年課が主催だけれども、意見を聞いているのかどうか。なかなか今の子は自分で出すというのができない。

○三田公民館長

職業研究講座はアンケートで選んでいたかと思います。そうですね、公民館のほうで選んでしまっているところはありますね。

○本間委員

こちらから与える、こういうことをやるわよというもので募集しているという形。

○三田公民館長

そうですね。

○本間委員

今の子供たちは児童ホームでやるおたのしみ会は絶対みんな来るんですけど、それ以外の映画とかにはなかなか参加しない主義で、これをやるよりゲームの対戦とかができるのかなというのがあるけれども、子供の意見が聞けない。公民館も利用が云々だからしょうがないですけど。

○三田公民館長

今後はアンケートを取って子供の意見も聞いていきたいと思います。

○本間委員

それから、習志野台の魅力アップ講座でアナウンサーの話が出て、60代から80代の参加というのを出して、その後リカレント教育のメイクアップと。これはタイアップしてやるとすごくつながっていくのかなと思いました。「15人か、寂しいな」と思いながら、せっかくの企画がという気がしていました。

それから、おもちゃの病院が児童ホームでは今やれないような現状だというのはちょ

っと聞いていますが、公民館はやっているんですね。

○習志野台公民館長

習志野台はやっています。

○本間委員

西船地区はもうやっていないと言っていて、うちは個人的に知っている人が来て、おもちゃの修理とか刃物とかを研いでくれます。うちの施設は個人的な人でやっているけど、今も習志野台だけはやっている。

○習志野台公民館長

習志野台公民館は月1で開催しています。

○本間委員

お年を召した方が多かったから、もう解散しているんだと思っていたので。

○習志野台公民館長

代表の方はお年は召していらっしゃいますけれども、新しい方も徐々に入っているみたいなので、今6~7人はいらっしゃると思います。

○本間委員

今はほかがないから。問い合わせの電話を偶然聞いていたので、やっていないんだ、昔やっていたのにねという話でした。習志野に行くように言っておけばいいですね。

○習志野台公民館長

そうですね。

○本間委員

それから、薬田台のほうのPTA家庭教育セミナーの「ネットの社会を生きる力」って本当に必要で、今後もやっていっていただきたい。特に小学生くらいからやっていかないと、どれだけうちの職員が子供たちの問題で引っかかっているか、現状を見ているとあれなので、今から教え込んでいっていただくといいのと、反対に職員も覚えていかなければいけない。どこでアプリ取っているのかチェックしておかなければいけないものですから、そういうこともちょっと気になっていました。

まちづくり出前講座の「ごみの中に夢がある」というのがありますが、やっぱり出前講座とタイアップしてそういう企画をしていくと、人って集まりますよね。

○薬田台公民館長

はい。こちらのほうから本庁の課に出前講座でお願いして、あとは集めるように努力をするというか、環境講座はどちらかというあまり集まりづらいものではあるので、例えば、いくつもの講座の中の一つとしてやってみたり、こちらのほうは単独でやったのですが、いろんなところにチラシを配布したりして、大切なことなのでやりました。

○本間委員

新しい企画の「多肉植物寄せ植え教室」をやった後、アンケートで継続して開催して

ほしいという声が多いということは、ほかにもアンケートを取るとそのまま継続してというのもあったけれども、そういうのは次年度のほうで検討項目として入るわけですか。

○薬田台公民館長

そうですね。検討項目として考えていきます。実現できるかどうかはありますけれども、アンケートを取った要望などについては次年度の講座に生かしたりはしています。

○本間委員

せっかく要望があったら、それをやっていけばいいだろうなと思いながら、私なんかは全然参加できなくて申し訳ないなと思いながら見させていただいています。公民館も休み処ができて、誰でも入れるような場所になっていけばいいのかなとは思っていますので、よろしくお願いします。

以上です。

○大塚委員長

ありがとうございます。

ちょっと私のほうからご相談なのですけれども、ここに毎回評価という文言が入って、その評価というのは公民館側からの実際にやったことに対する評価という形を取っていますけれども、例えば飯山満公民館さんや薬田台公民館さん、そのほかもそうですけれども、私が実際に飯山満公民館さんで白杖を持って、目が見えないというのはどういうふうに歩くんだということで、公道でやってみたり、体育館等の講堂、そういうところで両方やってみたときに、参加者の感想がすごく新鮮に聞こえたんですよ。

私が何を言いたいかという、皆さんと相談してできればと思うのは、評価というのは、皆さんが見て、それがどういう形でいいと思っているのか思っていないのかという部分が若干入っているのですけれども、さっきの話のように、初めて白杖を握った人がすごく感動している姿を私見たんですよ。何が感動したかという、指導員の親切さ、そして、何が今必要なんだ、何が楽しかったんだという参加者の声、この中に入っていると、単に評価というだけで打ち切っているところと両方あるんですね。

これは直せということではなくて、それも必要なだけけれども、1行でも2行でもいいので、もしできるならば参加者の声というか、やってみてどうだった、子供だったらすごく喜んでたのか、こんなものだなと思うのか、僕らからすればここでしか内容が分からない。行ってみないと、どういうことで彼ら彼女たちは参加してくれているのか。さっきから皆さんの話があったように、好きで行ってやっている、やっぱり音楽はいいね、何かをつくるのもいいね、食べるものをつくるのもいいね、そういうことがあるから皆さん来ているのだと思いますけれども、それが出てこないで、ただ評価だけが出ていくことについて、皆さんのほうで少し検討していただくとかいうことで、ここで話し合いができればいいなと。

今すぐやれと言っているんじゃないですよ。そういうことによってこの審議会の中で

少しずつ深掘りして市民の気持ちが分かってきた、だったら次にこうしようかな、できるかなということ、考える時間も必要かなと思っています。今後の課題と検討ということで頭の中に入れていただければ大変ありがたいと思いますので、ひとつよろしくお願いいたします。

○牧野委員

台風が今年なかなかぎやかでしたけれども、それによって中止というお知らせになっているところが何か所かありましたけれども、そういう中止のお知らせというのはどのように出されるのでしょうか。例えば電話番号が分かっている方に直接かけるのか、ネット上で出すのか、どういうふうな手段で今回は中止ですということ。例えば東部公民館ですとダーツ大会が中止になっていますが。

○東部公民館長

例えば、ダーツ大会については、連合会のほうから中止ということで連絡をいただきましたので、連合会のネットワークの中で参加者の皆さんには連絡をしていただきました。また、主催事業が荒天で中止ということであれば、参加の申込み時に連絡先をいただいておりますので、連絡先のほうに直接電話をして、中止の連絡をすることになっております。

○牧野委員

団体さんに向けて電話で連絡をされる。

○東部公民館長

そうですね。

○牧野委員

個人的に申し込まれている方は、こういう場合は少ないですか。

○東部公民館長

事業は個人で申し込んでいる方もいらっしゃいます。個人で申し込んでいる事業については、連絡先をいただいておりますので、その方に直接中止ですよというお電話をしております。

○牧野委員

分かりました。

○大塚委員長

両方ですね、個人であれ団体であれ。電話を聞いている人には連絡をする。

○東部公民館長

はい。

○大塚委員長

ほかによろしいですか。

それでは、この「令和6年度公民館事業報告（6/27～9/25）」については、各公民

館一括してご承認の採決をとらせていただきます。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

全員挙手でご了承いただきました。ありがとうございます。全公民館からの事業報告につきまして、ご承認いただきました。

続きまして、次第(2)の「令和6年度公民館事業計画(9/26~12/25)について」、東部公民館長さんより順次説明をお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。まず初めに、青少年部門の「ハッピーサタデー事業」につきまして、9月から12月まで4回のイベントについて、まずは、あさって9月28日(土)には、青少年相談員東部ブロックの方々との共催事業として、バスハイクを開催いたします。今年は茨城県のアクアワールド大洗水族館等、同じところにあります大洗わくわく科学館を見学コースに入れ、対象は小学校3年生から6年生までの40名をもって行ってまいります。あさってはあいにく雨模様の天気ではございますが、安全第一に交流を深めながら楽しんでまいりたいと思っております。

次の10月19日の回の「ペットボトルでロケットを作って飛ばそう!」につきまして、これも昨年度に引き続く事業でございますが、ボースカウト船橋第24団の皆さんのご協力、ご指導をいただきながら、二宮小学校のグラウンドをお借りしまして、ペットボトルでロケットをつくって飛ばそうという事業を開催いたします。圧を高めて飛ばすロケットは、4階建ての校舎よりも高く飛ぶぐらいということで、去年、好評だったものですから、再度今年度についても企画をし、実施する予定として進めているところでございます。

11月、12月につきましては、今企画を進めているところでございますので、また報告させていただきたいと思っております。

次に、「子ども日本語教室」につきましては、10月と11月、各4回ずつということで開催する予定となっております。

次に、成人事業でございますが、「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましては、報告でも申し上げたとおり、前原地区社会福祉協議会の皆さんとの共催事業ということで、前原小学校、中野木小学校での開催を予定しているところでございます。

続きまして、「家庭教育セミナー『二宮小学校家庭教育セミナー』」についてでございます。今年度も昨年度に引き続き二宮小学校のPTAとの共催事業により、今年も全3回講座を予定している中で、ここでは9月と11月ということで掲載してございます。1回目と2回目については「生と性の健康講座」ということで、本日9月26日にはお母さん方を対象にした「思春期の謎」という講演を進めたところでございます。11月につき

ましては、5年生の児童全員と保護者を対象にした、これも同じように「生と性の健康講座」ということで、人体模型を使いながら体の仕組み等を講演していただいで進めるものでございます。

次に、「家庭教育セミナー『モンテッソーリたんぽぽ子供の会家父母会家庭教育セミナー』」、今回は2回目の講座を10月28日に開催いたします。この講座も「思春期の謎」をテーマに助産師 鶴岡利江子先生のご講演をいただくものでございます。

続きまして、「就学時健診等における子育て学習」についてでございます。東部公民館区内の令和7年度に小学校に入学する児童の保護者の子育ての集会の場として開催するものでございまして、この公民館区は二宮小学校、前原小学校、中野木小学校の3校でございますが、各学校において、親子のコミュニケーションの図り方や子育てで大切なことなどを講師により学んでいただくものでございます。

続きまして、「大人の遠足～道東の秘境～」についてでございます。こちらは今回新規事業として開催するもので、北海道にいる現地ガイドの方と中継で結び、船橋市と交流のある北海道津別町の紹介を通じて、津別町など道東の産業等を学んでいただくとともに、その地域と関連したお弁当やおやつを食べたり、北海道津別というなかなか訪れることのできない場所を船橋の公民館にしながら遠足気分を味わっていただくものでございます。

続きまして、「東京・七福神の寺社めぐり～深川・亀戸～」についてでございます。こちらにも新規事業として実施するものでございまして、深川・亀戸の七福神をめぐりながら情緒あふれる街並みを散策し、街の中の史跡等に触れることで、学習意欲の促進、健康増進を図るとともに、参加者同士の皆さんの交流を深めることを目的に、3回講座で開催するものでございます。1回目は座学講座で、10月24日、七福神についての知識を深めていただきます。2回目は10月31日に深川のほうで七福神めぐり、3回目は11月7日に亀戸に行き七福神めぐりということで散策する予定でございます。

続きまして、「まち探検 in 前原～前原地域の歴史めぐり～」の事業についてでございます。これにつきましては、前原地域の歴史について学習する機会として、散策を通して健康の増進を図ることを目的に、郷土資料館との共催事業として11月30日に開催するものです。散策コースとしては前原東にあります御嶽神社を訪問させていただきまして、神主さんから神社の歴史等についてお話を伺ったり、また、JR津田沼駅の南口、イトーヨーカ堂の南側にあります八坂神社等をめぐる予定で、5キロほどの散策を楽しむものでございます。

続きまして、高齢者でございます。東部地区の老人クラブ連合会との共催事業として年に2回、春の開催、秋の開催ということでグラウンドゴルフ大会を開催しているもので、今回10月23日または10月30日に、薬円台公園のグラウンドでグラウンドゴルフ大会を開催するものでございます。

その他についてでございます。子育て支援事業としては、報告でも申し上げたとおり、引き続き「子育てサロン『アイアイ』」、「子育てサロン『ランラン』」、「子育てサロン『おしゃべり広場』」の親子対象講座を進めるものでございます。

「オータムコンサート」につきましては、春に開催したハープの演奏によるスプリングコンサートに次ぎ、今度は11月9日にオータムコンサートとして、ヴァイオリンとピアノのコンサートを予定しているところでございます。

続きまして、「手話であそぼう！」の2回目と3回目の事業についてでございます。2回目は10月27日（日）に「モルックにチャレンジ！」として、モルックのゲームについてのルールを学び、その後、ゲームを通して障害者の皆さんとの交流を深めるものでございます。3回目の11月24日については、講演会として「デフリンピックについて」をテーマに、NPO 手話技能検定協会の副理事長 谷千春さんを講師にお招きし、講演を開催するものでございます。このデフリンピックは、国際ろう者スポーツ委員会が主催し、4年ごとに開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会として、第1回目は1924年にフランスのパリで開催され、来年2025年には東京で開催されます。ちょうど100周年の記念すべき大会に当たるということで、このテーマを掲げたものでございます。

次に、「大江戸和船展示」についてでございます。本事業については、今年の3月にも市役所本庁舎1階の入り口の脇の美術コーナーをお借りして開催し、精巧に再現された江戸和船の模型を皆さんにご覧いただき、来場者の皆様からは大変好評で、次回開催の要望を大勢いただいたものでございました。今年度についても、美術コーナーで大江戸和船文化研究会による江戸の和船を、70分の1の大きさで精密に再現したジオラマを展示するものでございます。たくさんの方々に海に面した船橋の漁師町文化に触れていただければと思っております。

最後に、「文化祭」の開催についてでございます。東部公民館は休館中のところでございますが、一部のサークルの皆さんからの文化祭開催の要望も踏まえ、今年度は中央公民館の講堂と集会室を借用して、今回は23団体の参加をもって10月5日、6日の2日間にわたりまして開催するものでございます。東部公民館地域の皆様には、文化祭特集号という館だよりを新聞折り込みにより配布させていただくなどPRを進めさせていただき、開催会場が東部公民館の地域とは離れたところではございますが、ぜひとも皆様ご来館いただき、会場確保に苦慮されているサークルの皆さん、頑張っておりましたので、そういった皆さんの学習の成果をぜひともご覧いただければと思っております。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、三田公民館さん、お願いいたします。

#### ○三田公民館長

三田公民館の該当期間の事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」は、期間内に3回実施予定でございます。1つ目は東邦大学ボランティア部を講師に実施いたします「親子理科実験教室」です。平成27年度から実施しておりまして、毎回、東邦大学の実験教室をお借りして実施しております。今年は炎色反応、割れないシャボン玉などの実験をする予定であります。定員30名となっておりますが、ボランティア部と安全にできる人数を協議いたしまして、小学生15名とその家族の参加ということになりました。

2つ目の「秋のお楽しみ会」は、ポートソレイユオーケストラを招きましてコンサートを実施いたします。ポートソレイユオーケストラは、船橋市内の学校の部活などで楽器を演奏していた人たちの集まりとなっております。楽器の紹介ですとか体験などを交えて、楽しみながら音楽の知識も増えるコンサートにしたいと思っております。三田習地区自治会連合協議会、西田喜野井町会のご協力をいただき実施いたします。

3つ目の「冬のお楽しみ会」は、三田習地区青少年相談員と内容について現在協議中です。

続きまして、成人対象です。「家庭教育セミナー」は、報告でお話ししましたように、今年度は三山小学校PTAと共催しております。第4回目は「いのちの授業」を6年生対象に実施いたします。

次に、「小さな旅・歴史散歩」です。東京都内の史跡や旧跡を散策しながら、その歴史を学ぶ講座となっております。赤坂の迎賓館とその周辺を散策する予定となっております。現在講師と内容について協議しているところです。

続きまして、「大人の学びなおし講座」です。日本証券業協会から講師を招きまして、将来に備えたライフプランについて学ぶ講座を考えておりますが、すみません、こちらは時期を1月以降に実施しようということになりまして、削除させていただきます。

次に、「就学児健診における子育て学習」は、就学時前の健康診断に合わせて毎年度小学校と共催で実施している講座です。三山小、三山東小、田喜野井小で表記のとおり実施いたします。

次の「高齢者介護教室」は、6月に1回目を行っておりまして、これは今年度第2回目となりますけれども、「朗朗介護」をするために、介護をしている人の背中をそっと押してあげることができたらというテーマで行います。この「朗朗介護」の「朗朗」の部分ですけれども、朗らか朗らかという当て字になっております。介護予防体操と介護をしている人のための公的支援についてのお話、それから介護をしている家族の現状の支援について学びます。

続きまして、「三田セミナー 後期」ですが、前期に続き「船橋・房総そして世界へ」

をテーマに、地元前原から薬円台の散策とチバニアンについて座学と現地へのバス研修で学びます。午前中にチバニアンビジターセンターからチバニアンの現地まで歩いて見学しまして、午後からは市原歴史博物館を見学する予定となっております。

続きまして、高齢者対象事業です。「三田寿大学」は期間内に3回実施いたします。11月14日は環境について考える機会として、アースドクターふなばしを講師に迎え、地球温暖化とSDGsについてお話しいたします。また、12月12日は、オカリナとギターによるクリスマスコンサートを実施いたします。コメ・プリマというオカリナとギターのトリオによるクリスマスの雰囲気味わえるコンサートを行おうと思います。

次のページに参りまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載の日程で実施してまいります。

次に、三田公民館区老人クラブ連絡協議会との共催事業を記載のとおり期間内に3回実施してまいります。

最後に、その他の事業です。「サークル活動・体験会」については、新規事業となっております。この企画は船橋市の公民館の課題解決のために組まれたワーキンググループによって発案されたもので、船橋市の多くの公民館が同時期に同様のサークル体験会を行います。ふだんは、サークルに参加したいと思っている人は、公民館から見学したいと思っているサークルの連絡先を聞きまして、自分でサークルの代表者に連絡をして見学の日を予約するという手間があるのですけれども、それをこのサークル活動・体験会の期間中は予約なしで飛び込みでサークル見学ができるようにすることで気軽にサークル見学してもらいまして、入会してみようかなと思っていただく機会を増やす取組となっております。これによって高齢化やコロナ禍で活動ができない期間に会員数が減ってしまっていて存続が危ぶまれている団体の活性化を目指します。

広報につきましては、この趣旨に賛同したサークルの活動を表にしたものをホームページに掲載したり、公民館で配布いたします。また同時期に同様の体験会を行う公民館をまとめて広報ふなばしに掲載する予定となっております。

次に、「ご近所コンサート」ですが、地元の音楽家をお招きして毎年行っているコンサートですけれども、すみません、こちらも1月以降に変更したいと思っておりますので、削除させていただきます。

次に、「第47回三田公民館文化祭」ですが、10月26日、27日の両日にわたり実施いたします。今年度は昨年度と同等の規模で、展示部門、スポーツ発表部門、音楽芸能部門、模擬店を行います。

次に、「土曜卓球開放」は、期間内の第1土曜日に実施いたします。

「三田習地区ソフトボール大会」につきましては、三田習地区自治会連合協議会との共催で実施する予定ですが、現在日程を調整中でございます。

三田公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、習志野台公民館長さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

それでは、習志野台公民館、該当期間の事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年事業でございますが、「ハッピーサタデー事業」を、10月は習志野台児童ホームと共催で、「わくわくハロウィン」と題しまして開催いたします。内容は簡単な工作や風船のプールなどを開催予定でございます。11月は「親子クッキング」を開催いたします。こちらの内容は、親子でおしゃれな缶にクッキーを詰め込んだクッキー缶をつくるという内容を予定しております。12月は青少年相談員を講師といたしまして「もちつき大会」を開催予定でございます。こちらは昨年だいぶ人が来てしまい、ちょっと混乱をいたしましたので、今年度はその辺りも考えていきたいと思っております。

次の「書初め教室」でございますが、こちらは子供たちの冬休みの課題を支援する目的としての書初めです。支援として開催予定でございます。関谷先生から書初めを学ぶということで、12月に開催をいたします。

次に、成人事業でございますが、「デジタルデバイド対策事業」といたしまして、こちらは「情報モラル講座」、報告にもございましたが、またこちらも開催いたします。同じようにスマホの使用はいたしません、安全な使い方や SNS、また、スマホの使い方が大丈夫ですかというような内容で実施を予定しております。

次の「地域再発見講座」でございます。こちらは春と秋に行っている恒例事業でございますが、今回は秋の散策といたしまして、京成線の実籾駅から出発し、空挺館などを見まして、習志野台公民館まで近隣地区の歴史を訪ねるものとなっております。

次の「国際交流講座」でございますが、ページ移りまして、市国際交流員の劉琳さんを講師といたしまして水餃子をつくり、また、中国文化を学ぶ予定としております。

次の「バリアフリー映画会」でございますが、こちらは東図書館と共催で実施いたします。「じんじん」という映画を字幕や音声ガイド付きバリアフリー映画として上映予定でございます。

次の「デジタルデバイド対策事業」でございます。こちらは先ほどと違しましてスマホを使いまして、スマホの基本と LINE 体験を学ぶ講座としております。

その次の「習志野台歴史講座～上飯山満を歩く～」でございますが、こちらは習志野台公民館の生涯学習コーディネーターとの企画事業としております。船橋地名研究会の山本稔さんを講師といたしまして、初回は座学でコーディネーターと山本先生のほうで内容等を調整して開催いたします。2回目に実際に場所を見て歩く散策として実施予定でございます。

続きまして、高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」は、10月に健康講座とい

たしまして、3Q体操を荒谷美枝子先生をお呼びして開催いたします。12月はボイスアーティストの横洲かおるさんをお願いいたしまして、ウィンターコンサートを開催予定でございます。

次の「ハッピーサロン」、また、ページ移りまして「ふなばしシルバーリハビリ体操」につきましては、記載の内容のとおり開催予定でございます。

最後、その他事業でございますが、「習志野台公民館文化祭」でございます。10月19日、20日の土日に開催予定です。発表は16団体、作品展示は12団体、模擬店はフリーマーケットを含みますが、そちらは3団体参加で実施予定です。時間のほうは展示の時間となっておりますが、発表は現在調整中でございますので、よろしくお願いいたします。

次に、「就学時健診における子育て学習」を管区内の高郷小学校、習志野台第一小学校、習志野台第二小学校の3校で、記載のとおりそれぞれ講師をお呼びして、就学前のお子さんを持つ保護者を対象に子育てなどについて実施する予定でございます。

続きまして、先ほどお話がありました「おもちゃの病院」につきましても、毎月第1土曜日に月1回記載のとおり開催しております。

また、ページ変わりました「将棋開放」、「卓球開放」、「子育てサロン」、こちらも記載内容のとおり開催予定でございます。

次に、習志野台地区社会福祉協議会との共催事業でございます「福祉まつり」を、12月1日（日）に記載のとおり開催予定でございます。内容は、パンなどの模擬店、小学校・中学校作品展示、健康相談でございます。申し訳ございません、記載内容のほう「小・中学生の演奏」となっておりますが、これは「小・中学生の展示」に直していただいて、それから、「健康体操」と書いてありますが、これは「健康相談」にそれぞれ修正をお願いいたします。

習志野台公民館の記載は以上でございますが、申し訳ございません、事業のほう1つ漏れておりまして、1枚お机の上に置かせていただいた「サークル体験・見学会」、こちらは新規事業の様式事業計画シートの番号15になります。こちらを入れておりませんでした。申し訳ございません。先ほど三田公民館からお話がありましたように、ワーキンググループで出ましたサークルの活動を体験してもらうということで開催となります。会員増を図り、サークル活動に興味を持っていただくことを目的として開催いたします。どなたでも自由にお越しいただけるようになっております。また申込みのあったサークルが38団体で、開催が49回の開催を予定しております。期間のほうは11月中の団体活動日に開催予定です。習志野台公民館でも館報、またホームページ、館内掲載等でお知らせをする予定でございます。

習志野台公民館は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、飯山満公民館さん、お願いします。

#### ○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業計画についてご説明させていただきます。

まず、青少年事業の「ハッピーサタデー事業」です。10月は元小学校の教諭で陸上を専門としている先生から走り方を学びます。低学年と高学年で分けて行います。11月はテラコッタの雪だるまづくりです。テラコッタとは粘土でつくる素焼きの焼き物です。

次に、「クラブ活動支援」事業です。伝統文化クラブは10月まで着付けで、11月からは茶道になり、公民館で実施することになります。

次に、「冬休み宿題応援企画 書き初め教室」です。千葉県立船橋芝山高等学校の書道部に講師をお願いして4年目になります。人気の高い講座です。

次に、「輝きのある暮らし～ステンドグラスのオーナメントを作ろう～」です。季節ごとの暮らしを豊かに楽しむきっかけづくりとして企画しました。ハンダゴテ等の道具の関係で、定員10名のところ50名以上の申し込みがありました。抽選をして当選者には連絡をしたところです。

次のページに移りまして、「スマホの写真整理ってどうするの？」です。昨年、スマホの自撮り講座を行った際、一番質問が多かったのがスマホの中に入っている写真の整理の仕方だったため、今年度企画しました。応募状況の見込みが立たなかったので先着にしたのですが、1時間で定員いっぱいになってしまい、その後もたくさんのお電話をいただきました。とても需要が多いことが分かったので、講師と相談し、来年度も実施できたらと考えております。

次に、「はさま建物探訪」です。今年度は三田界隈のイタリア大使館や慶應義塾大学などを学びながら散策します。

次、「就学時健診等における子育て学習」です。飯山満小学校と飯山満南小学校でそれぞれ記載のとおり行います。

次の「はさまロングウォーク」です。今回は、公民館を出発し、緑台・高根町方面までの往復7キロほどを歩きます。公民館に戻ったら地区連さんがつくってくれるすいとんをいただきます。

次に、「お正月を手作りミニ門松で迎えよう」です。こちらは3年目になりますが、毎年大人気で、抽選で漏れた方から「来年度もお願いします」と言われていますので、講師が引き受けてくださるなら、もう少し続けていきたいと思っております。

次に、高齢者対象「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり行います。

次のページに行きまして、「飯山満寿大学」です。記載のとおり行います。12月はALSOKを講師に、空き巣に狙われやすい住宅のお話や、ひったくりや振り込め詐欺についてクイズを交えながらお話しいたします。

次の「シルバー男性料理教室」は、記載のとおりです。

次に、健康づくり課と共催の「総合型介護予防教室 ゴーっと元気！健康教室」です。今年度は東京体育機器株式会社を講師に筋トレや脳トレを行います。

次の「ゆびとま子育てサロン」は、記載のとおり行います。

次のページの「体験して感じて！見えないってどういうこと？ 動画コンテンツ版」は、先ほど報告させていただいた「見えないってどういうこと？」の講座の動画をふなばし生涯学習チャンネルで公開するものです。ただいま編集中で、11月ぐらいに公開できればと思っております。

次に、飯山満公民館文化祭です。今年度は発表が14団体、展示3団体プラス一般団体1、模擬店が2団体プラス協力団体3です。皆さんの練習の成果を発表する場なので、たくさんの方に見に来ていただければよいと思っております。

最後に、「本館家庭教育セミナー」です。飯山満小学校の5年生の児童と保護者を対象に、いのちの授業を行います。

飯山満公民館からは以上です。

#### ○大塚委員長

ご苦労さまでした。ありがとうございます。

それでは、最後に薬園台公民館長さん、お願いします

#### ○薬園台公民館長

薬園台公民館の当該期間の事業計画について、ご説明させていただきます。

まず、青少年事業でございます。「楽しく学ぶ交通安全教室」は、交通安全クイズ、自転車VR体験、これは自転車ながらスマホの危険性をバーチャルで疑似体験します。また、オリジナルのリフレクター（反射板）をつくるなどし、楽しく交通ルールを学びます。

「DNAを見てみよう！」では、野菜のDNAを観察するとともに、各自で身近な食べ物からDNAを抽出して、DNAについて学びます。生き物には生命の設計図であるDNAが含まれていることを学びます。

12月は、薬園台高校書道部による「かきぞめ教室」を行います。

続きまして、「学舎連携事業 クラブ活動支援事業」です。4回目、5回目のクラブ活動支援となります。

「本館家庭教育セミナー」になります。9月に実施する「初めての親子コンサート」では、0歳から参加できます。フルートやピアノの生演奏を聴きながら、赤ちゃんや小さなお子様と一緒に体で音楽を感じて、すてきなひとときを過ごしていただきます。

10月の「親子でかぼちゃのプリンづくり」では、柔らかくしたかぼちゃと卵と牛乳を混ぜて、蒸したプリンをつくります。味も見た目もかぼちゃで飾り付け、ハロウィン気分を味わいます。

続いて、「布の絵本づくり」になります。託児付きで実施し、お子さんの名前が入った世界でたった一つの絵本をつくります。

11月は、家族みんなで参加してもらえる講座ということで、「護身術」を企画いたしました。

続きまして、生涯学習コーディネーターとの共催事業になります。新規事業です。「40代・50代からできるライフスタイルの再構築を」、リカレント教育（学び直し）の一環として企画いたしました。自分らしい生き方を考えてみようという講座です。1回目は、これからのなりたい自分を知る。2回目は、夢を実現するための行動計画となります。今回は、仕事における職歴や経歴、理想の将来像も含めて長期的な視点を考えていく「キャリア」という言葉はちょっとハードルが上がってしまうのではないかとということで、何か始めるきっかけになれる講座をということで企画してみました。話がしやすい場になればと考えております。公民館に来ていただくことが難しい40代、50代の方を特に呼びかけていきたいと思っております。

もう一つ、コーディネーター企画となります。「船橋のお宝再発見」として、「美味しい梨の秘密」というテーマで梨園5代目の豊田大輔さんによる講演会を実施いたします。

続きまして、「ドライフラワー講座」の2回目では、ドライフラワーのスワッグ、花や葉を束ねて壁に飾り付ける飾りをつくります。

続きまして、「スマートフォン講習会」では、スマホの基本とLINEの体験、スマホの基本とキャッシュレスを学びます。

続きまして、「寄せ植え講座」は昨年からの引き続きの講座となります。人気がありました薬園台高校園芸科の先生と生徒さんによる季節の花の寄せ植え体験になります。生徒さんたちが育てた花で寄せ植えを行います。会場は薬園台高校となります。昨年は「花が大変長く咲いていて、長い間楽しめた」という報告もございました。

続きまして、毎年行っております郷土資料館との共催事業の「文化講演会」になります。今年度は江戸時代の食文化をテーマに講演会を行います。

続きまして、「やくえんだい福寿大学」になります。10月は高齢者の歩き方、靴の選び方を学びます。足と靴に関するクイズや健康寿命、骨の大切さなどの話を行う予定です。11月の「中国文化に触れる」は、多文化共生のテーマとして設定いたしました。国際交流課の国際交流員が講師となります。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」を記載のとおり行います。

続きまして、「カンガルーぼっけ」になります。人気のおひるねアート、親子で遊ぶ、本館の社会教育関係団体によるクリスマスのおはなし会となります。

続きまして、「就学時健診等における子育て学習」になります。管区である薬園台小学校、薬園台南小学校、七林小学校の3校全てで実施いたします。

続きまして、「福祉まつり」になります。薬円台地区社会福祉協議会が中心となり、「つながる地域の輪」をテーマに地域の多くの団体と連携し、福祉まつりを実施してまいります。

「地域緑化支援事業」につきましては、引き続き、花壇の管理を行ってまいります。

「第32回やくえんだい文化祭」になります。文化祭の前週には卓球の集い、囲碁まつり、ダンスの夕べを実施いたします。12日、13日は、発表の部26団体、展示の部11団体、催し物・模擬店が8団体参加いたします。参加団体数はほぼ昨年と同数です。テーマは、前を向く飛躍のイメージで「薬円台でポップステップジャンプ!」となりました。

続きまして、昨年から引き続きの事業になります。サークル支援の一つとして、11月の1か月間を「サークル活動見学・体験月間」とし、予約なしの自由参加でサークルを見学してもらいます。文化祭でチラシを配布するなどし、社会教育関係団体が行っている活動に興味を持ってもらい、入会のきっかけづくりをサポートいたします。44団体のサークルが参加いたします。

薬円台公民館からは以上となります。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

各公民館さんからの公民館事業計画（9月26日～12月25日）についてご説明いただきました。委員の皆様、ご質問ございましたら挙手でお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

お願いします。

#### ○加瀬委員

どちらの公民館さんも、就学児の健診等における子育て学習は時間が20分から40分ぐらいしかない。これは学校主導でやっているからこういう時間なんですか。せっかく来ていただいて20分では、ちょっとどうかなと思いますが。

#### ○飯山満公民館長

まず就学児健診は、メインはもちろん子供たちの健診で、その間の親を預かっている時間をつくっていきまして、親が一番聞きたいのは、1年生になってからの持ち物とか、そういう学校からのいろいろな説明が聞きたいんですよ。そっちがメインなんです。あくまでもこちらは少し時間をいただいて子育て学習を実施しているという形です。

#### ○加瀬委員

それで皆さんご理解いただいているということですか。

#### ○飯山満公民館長

そうですね。お子さんが健診を受けている間に実施しており、お子さんの健診が終わったら、一緒にお帰りになるので、問題はないかと思います。

#### ○加瀬委員

親御さんのほうで時間が短いからって不平不満が出ないのかなと思ったけれども、ないんですね。ありがとうございました。

○本間委員

芝六の練習をしたと書いてあったけれども、あれは文化祭か何かで発表できるようなチャンスをつくってあげている。芝六で太鼓のたたき方を教えてもらっていたのは。

○薬田台公民館長

薬田台で、社会教育関係団体の芝六太鼓さんが学校のクラブ活動支援で教えているのですけれども、それは学校の中で発表になります。

○本間委員

学校の中で。文化祭ではなくて。

○薬田台公民館長

児童さんなので、学校の中での発表になります。

○本間委員

文化祭でやるのかと思った。せっかくのチャンスだから。

○蠣崎委員

東部公民館さんの「大人の遠足～道東の秘境～」は、ネットでつないでやるんですよね。

○東部公民館長

はい。

○蠣崎委員

お弁当とかお菓子を食べてとおっしゃっていたと思いますけれども、このお弁当とお菓子というのは道東のその町のですね。どこから仕入れるんですか。

○東部公民館長

津別は木材のまちとして知られている町なんですね。シューマイ弁当を用意するのですけど、そのシューマイ弁当の中の経木の皮（木材を削った木のシート）が津別産なんだそうです。なので、それをお弁当業者のほうに発注して食べてもらうのと、お菓子は遠足ですからおやつということで、津別にちなんだお菓子を用意するものでございます。

○蠣崎委員

おいくらですか。

○東部公民館長

950 円の参加費でございます。

○蠣崎委員

ありがとうございました。

○大塚委員長

ほかにどうでしょうか。

○加瀬委員

今、参加費の話が出たけれども、一番最初に出ているバスハイクで大洗に行くのは、参加費はいくらぐらいですか。

○東部公民館長

3,500円を集めさせていただいております。バス代、入場料、昼食代等でございます。

○加瀬委員

とにかくバスは今高いから。

○大塚委員長

昔、市役所でバスが使えたときがあったじゃないですか。あのときは3,000円ぐらいでも市役所のバスだからということでやらせてもらっていたけど、今はそういうのはいからね。

○本間委員

今は物価が高いから、人件費やバス代が。

○大塚委員長

ガソリン代も払わなきゃいけない。バス代も運転士さんにも払わなきゃいけない。

○加瀬委員

バス代は大変なんですよ。乗る場所と、バスが車庫から出てくる距離も全部、かかった時間もかかるんですよ。だから、なるべく近くの車庫に止まっているバスを頼まないで高額になります。

○加瀬委員

遠いことは遠いけど、これはお帰りの時間も早いよね。だから距離があまり走らないのか。

○東部公民館長

そうですね。夕方5時ぐらいには戻ってくる予定です。

○加瀬委員

本当にバスは大変。ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかにどなたかご意見、また、聞きたいことはございませんか。

どうぞ。

○本間委員

そのつながりで。たしか9月28、29日は市民まつりが入っているけれども、そういう関係は、市の行事とこういうものが重なってもいいのかどうか。その分、職員が市民まつりに駆り出されるのかなと思っていたから、ちょっと心配していましたが、それはないんですか。

○東部公民館長

公民館職員は、勤務日ということもあり、市民まつりへの応援の依頼はなかったですね。

○大塚委員長

私どももパレードをやりますけれども、今までいろいろな問題は起きていなかったような気がするんですけどね。

○本間委員

せっかくのチャンスで、アクアワールドにも行きたい、市民まつりにも行きたいという人もいるだろうと思いました。

要は、公民館はこういう楽しい企画をして参加者を増やす。それから、近所の人との交流を深めていくというふうにしていかないと難しいですね。よろしくお願いします。

○大塚委員長

公民館さんは市民と交流を持って使ってもらうんですが、やっぱり市民が公民館のほうに来てもらうというのは並大抵の努力ではなくて、一日必ず何かやっているわけですから、その場合には指導者だとかお願いする人たちはいっぱいいるし、なかなかこれは大変です。それも人数も昔に比べれば職員の方が少なくなっていますから、そういう点では本当にご苦労いただいているなと思います。

さらにその上に、さっき言ったように、もう少し細かく何とかならないのかとか、本来の考え方と違うんじゃないかとか、いろいろと言いたい人は言うわけです。ただ、一生懸命やっつけやっているので。それはそれとして、市との流れがありますから、市は市としての各担当課でいろんな大きな問題を抱えてやっています。少しずつ変わってきましたから、10年前、20年前と比べれば大変だと思っています。でも、僕らも支えなければいけないので、ひとつよろしくお願ひしたいと思っています。

それでは、公民館事業計画（9月26日～12月25日）について、各公民館一括してご承認の採決をとらせていただきます。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

○大塚委員長

ありがとうございました。各公民館からの公民館事業計画につきましては、ご承認をいただきました。

私のほうはこれでおしまいとなりますが、事務局から連絡事項等何かありますでしょうか。

○事務局（東部公民館長補佐）

今回の開催ですけれども、開催場所につきまして変更を加えさせていただきましたので、年度当初お渡しさせていただいたのですが、変更部分を今ちょっとお渡しさせていただいてよろしいでしょうか。

○東部公民館長

今お配りさせていただいた日程についてですが、一点変更ということでご提案なのですが、次回 12 月 26 日、3 時から、中央公民館を会場にして開催したいと思いますが、いかがでしょうか。

○大塚委員長

よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

○東部公民館長

ありがとうございます。では、12 月の回は中央公民館で予定させていただきます。

○大塚委員長

それでは、公民館事業計画についてご承認いただき、第 3 回東部公民館運営審議会は全て終わりました。これで終了といたします。長い時間ありがとうございました。

午後 5 時 31 分閉会

令和 6 年 月 日

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印